

<試験官に関して>

試験官は以下2名でした。

外国人試験官 (NS) : 30歳代? 男性。大変寡黙な方。質問は聞きやすかったのですが、あまりに口数が少なく、極めて短い質問がポツンポツンとあって、私だけが一生懸命に話しましたので、こんな答え方で良いのだろうかときどき思いました。

通訳ガイド (TG) : 感じのよい若い女性の方でした。時々私の話に大きくなづいてくださり、勇気づけられました。

<面接試験の実際>

	<p>名前を聞かれました (名前だけです)</p> <p>すぐに質問に入りました。</p> <p>①Rainy season について話して下さい</p> <p>プリント教材で丸覚えしていた「梅雨」そのままを話したら、NS の顔が曇ったような気がしたので、急いで、この時期はアジサイがきれい、特に鎌倉が有名、アジサイ祭は素晴らしいと言いました。</p> <p>②世界遺産のうち、京都の世界遺産について話して下さい</p> <p>清水寺と金閣寺について、やや長めに話しました TG が大きくなづいてくださいましたので、助かりました</p> <p>③What happens to the tea ceremony?</p> <p>(内心、えっ、たったこれだけの質問? と思いましたが、お茶会はおもてなしの席です、厳格な作法でお茶をゲストにお出しして、ゲストも厳格な作法に従います。あと何か話したと思います。</p> <p>ここまで言う前から、こんな風な説明が良いのか不安になって NS に「何かお尋ねになることはありませんか」と私から質問したら、「特に何もありません」と言われてしまいました。③の答えはもっとうまくすべきだったと反省しています。</p> <p>④忘年会について話して下さい</p> <p>これは無難に問題なく話せたと思います。</p> <p>⑤レストランの食品サンプルについて話して下さい</p> <p>日本語の読めない外国人旅行者でも、サンプルを見て注文できること、合羽橋に行くとサンプルを売っていること等話して、これもまあまあだったと思います。</p> <p>日本語で良いので、通訳ガイドの重要な資質についてお話し下さい</p> <p>日頃の感じていることを率直に話しました</p>
--	--

<反省点、今後の課題、後輩へのアドバイス等>

明治大学の門を入ったところで、鈴木さんが笑顔で迎えて下さって、頑張ってくださいと言われて嬉しかったです。面接中は外国人が短い質問以外何も言葉がなかったので、少し不安でした。私自身、大変あがってしまいました。別の自分がわりとずらずらと話しているような気がしました。

試験が終わり、廊下に出たとたん、「富士アカデミーの模擬面接が私の力になってくれたのだ。筋肉トレーニングってこのようなものなのか。無意識のうちに平常心の欠如を補ってくれたのが、模擬面接だった」とパッと思いました。

反省はたくさんありますが、富士アカデミー様には感謝しています。